

HOKKAIDO
LIFELONG
LEARNING
PROMOTION
CENTER



北海道立生涯学習推進センター

要
覧
見

2014

平成26年度事業計画

1 調査・研究

(1) 調査・研究


研究課題	研究テーマ	内 容
生涯学習の振興に関する調査研究	地域の生涯学習推進に向けた産学官の連携による学習プログラムの開発に関する調査研究	地域の生涯学習の拠点として、従来から大きな役割を担っている公民館や生涯学習センター、図書館等の施設に加えて、新たな学習活動の広がり創出するために高等学校等を地域の拠点とした学習プログラムを開発する。 (3年計画の3年次)
当面する課題に関する調査研究	学習成果を活用して地域活動に参画する人材を育成する学習プログラムの開発に関する調査研究	研究協力市町村の取組について引き続き調査を行い、開発した学習プログラムの成果や課題について検証するとともに、地域活動に参画する人材を育成するための効果的な手法について検討する。 (2年計画の2年次)

(2) 企画・研究相談

事業名	期 日	対 象	内 容
企画・研究相談	通 年	市町村・市町村教育委員会職員、生涯学習指導者等	市町村教育委員会等の生涯学習・社会教育に関する相談に応じ、指導及び助言を行う。 ・生涯学習、社会教育の推進に関すること。 ・生涯学習、社会教育の調査・研究に関すること。 ・生涯学習、社会教育の文献・資料に関すること。

2 指導者の養成・研修

(1) 主催研修事業

事業名(会場)	期 日	定 員	対 象	内 容	
課題対応型 学習活性化 セミナー (札幌市)	9月4日(木) ～5日(金) (2日間)	40名	市町村・市町村教育委員会職員、各種審議会委員、各種指導者、民間団体(NPO、ボランティア等)関係者、まちづくり活動実践者等	近年求められる現代的課題への関心を高め、課題の解決に向けた主体的な行動を促す学習活動を活性化するため、他機関や団体等との連携・協力を含めた具体的な方策に関する専門的な知識や技術の習得に関する研修を行う。	
遠隔学習 プログラム 研修講座 (札幌市)	10月24日(金) (1日間)	30名	市町村・市町村教育委員会職員、民間団体(NPO、ボランティア等)関係者、学校職員、その他(ボランティア活動や地域活動に関心のある方、地域の学習リーダー)等	遠隔学習の推進の中核となる指導者の育成と産学官の情報のネットワーク化を図るため、様々な機関や団体等の関係者を対象として、遠隔学習による学習機会の提供のあり方及びその専門的な知識・技術等に関する研修を行う。	
生涯学習推進基本講座	道央会場 (芦別市)	平成27年 1月22日(木) ～23日(金) (2日間)	30名	市町村・市町村教育委員会職員、各種審議会委員(社会教育委員、生涯学習審議会委員など)、生涯学習関連施設(児童館、勤労青少年センターなど)職員等	人づくりと地域づくりに資する生涯学習を推進するための体制整備としての計画策定・評価及び事業企画に関する基本的・実務的な知識や技術などについて理解を深めるための研修を行う。 
	道南会場 (函館市)	10月2日(木) (1日間)	30名		
	道北会場 (苫前町)	6月27日(金) (1日間)	30名		
	道東会場 (標津町)	10月2日(木) (1日間)	30名		
生涯学習推進 専門講座 (札幌市)	11月6日(木) ～7日(金) (2日間)	30名	同上	人づくりと地域づくりに資する生涯学習を推進するための体制整備としての計画策定・評価及び事業企画に関する専門的な知識や技術について理解を深めるための研修を行う。	
地域生涯学習 活動実践交流 セミナー (札幌市)	平成27年 2月17日(火) ～18日(水) (2日間)	200名	市町村・市町村教育委員会職員、各種審議会委員、生涯学習関連施設職員、民間団体(NPO、ボランティア等)関係者、生涯学習実践者等	本道における生涯学習・社会教育の一層の推進を図るため、国の動向や関連施策等について理解を深めるとともに、実践事例の交流を通じ、地域における生涯学習活動推進上の課題解決を図るための研修を行う。	

(2) 自主研修団体受入事業

事業名	期日	定員	対象	内容
自主研修団体受入	通年	—	市町村・市町村教育委員会職員、生涯学習・社会教育関係団体職員等	生涯学習・社会教育関係者等が行う自主的な研修に対する助言や指導等を行う。

(3) 職員派遣事業

事業名	期日	定員	対象	内容
職員派遣	通年	—	「職員の講師派遣に関する取扱要領」に基づく対象団体が主催（主管）する研修会等	生涯学習・社会教育に関する研修会等を開催する団体からの要請に基づき、職員を派遣し、研修会等において指導や助言等を行う。

3 学習情報の提供・相談

(1) 学習情報の提供

事業名	期日	対象	内容
ホームページ『生涯学習ほっかいどう』	通年	道民、行政関係者、学校教育関係者、社会教育関係団体等	<p>道民の様々な学習活動を支援するため、インターネットで学習情報を提供する北海道の生涯学習情報のポータルサイトを運営する。</p> <p>＜主な提供情報＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 生涯学習情報データベース 生涯学習の相談窓口 家庭教育支援・子育て支援 行政関係者情報 <p>URL http://manabi.pref.hokkaido.jp/ 「生涯学習ほっかいどう」で検索</p>
生涯学習情報紙『北のまなび』	適宜	道民、市町村教育委員会等	道民の様々な学習活動を支援するため、生涯学習に関わるタイムリーな話題等を掲載した情報紙を発行する。



(2) 学習相談等

事業名	期日	対象	内容
学習相談『まなびウィング』	月～金曜日 (祝日・休日、年末年始を除く) 9:00～17:00	道民、行政関係者、学校教育関係者、社会教育関係団体等	<p>学習相談員等により道民の生涯学習活動支援のための学習相談を行う。</p> <p>【相談場所】</p> <ul style="list-style-type: none"> かでの2・7ビル8階 生涯学習相談室（まなびウィング） <p>【相談方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> 面接による相談（直接来所） 電話、ファクス、メール等による相談 <p>【相談内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 文献・資料、生涯学習計画・社会教育計画、社会教育調査・評価、施設・団体、学習機会・各種事業、講師・指導者、資格・各種制度等
家庭教育相談『子育てカウンセリング』	火～金曜日 (祝日・休日、年末年始を除く) 13:00～17:00 1回約1時間 (要事前予約)	子育てに関する不安や悩みを抱く親等	<p>臨床心理士による無料の相談を行う。</p> <p>【相談場所】</p> <ul style="list-style-type: none"> かでの2・7ビル8階 カウンセリング室 <p>【相談方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> 原則として面接による相談 <p>【申込方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> 予約受付 毎週月曜日～金曜日 9:00～17:00 (祝日・休日、年末年始を除く) <p>電話/FAX：011-261-4545 E-mail：kosodate@manabi.pref.hokkaido.jp</p>



(3) 生涯学習に関する資料の収集、展示及び提供



情報交流広場（まなびの広場＜9階＞）

広く道民に対して、道民カレッジ及び生涯学習の普及啓発に関する情報を提供するとともに、道内各市町村での生涯学習の取組について紹介したり、生涯学習関係団体の学習成果等の発表の場を提供するなど、学習者が互いに交流することができるよう、年間を通じて情報交流広場（まなびの広場）を開放する。

＜主な取組＞

- まなびの広場展の開催
- 生涯学習に関する資料の展示・提供
- ふるさとコーナーの開設
- 交流スペースの設置
- 道民カレッジ情報コーナーの設置
- ビデオレファレンスコーナーの設置

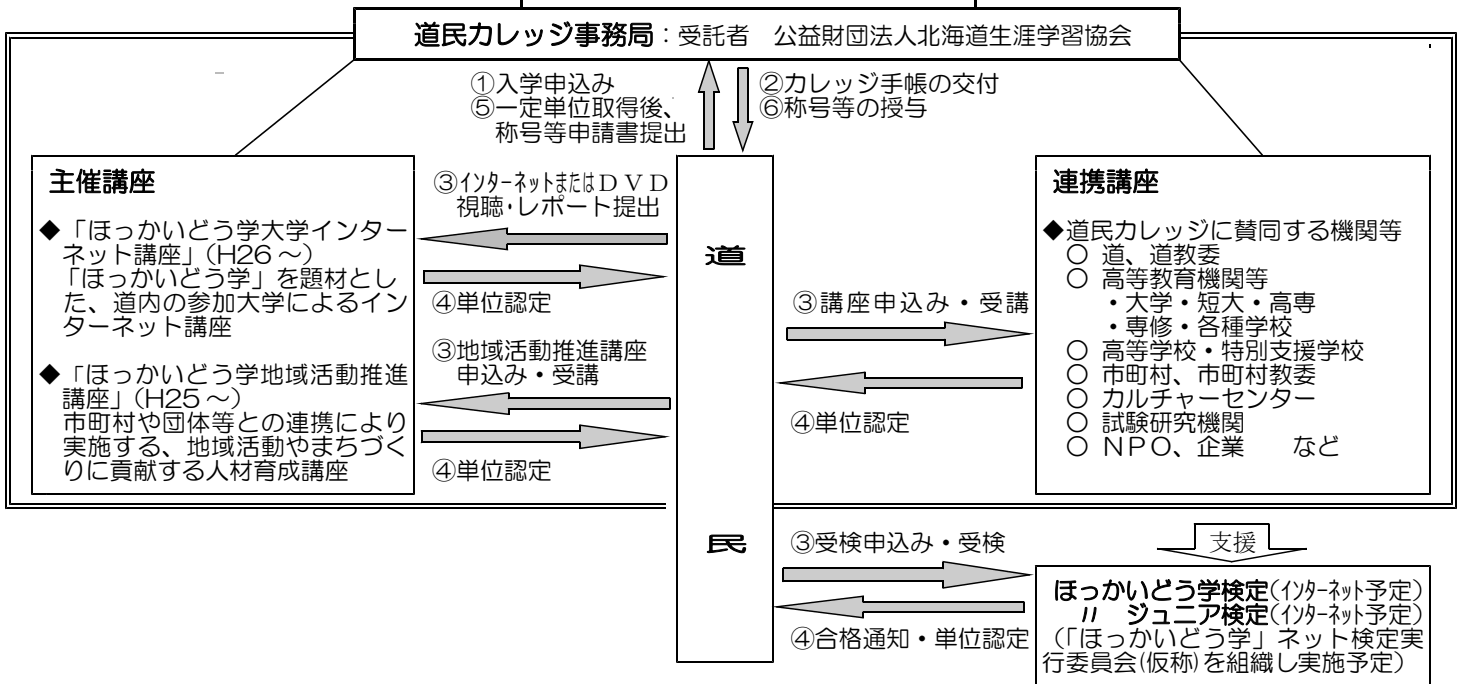
4 学習機会の提供

道民カレッジ

☆道民の専門的、多様化する学習ニーズに対応するため、産学官の連携による生涯学習を支援する体制の整備を図り、様々な学習機会を体系的に構築・提供することによって、道民の生涯学習をより一層振興するとともに、自立した北海道を創造する人材を育成する。

〈道民カレッジ本部〉
 学 長：北海道知事
 (道生涯学習推進本部長)
 副 学 長：北海道大学総長
 北海道経済連合会会長
 事務総長：北海道教育委員会教育長
 事 務 局：道立生涯学習推進センター

◇生涯学習推進センター運営協議会
 ・専門部会



「ほっかいどう学」の定義

道民自身が、北海道(あるいは道内のそれぞれの地域)について、現在を見つめ、過去を知り、未来の在り方を考える協働の学びである。この学習によって、道民としてのアイデンティティを確立し、主体的に学ぶことによって培われる知識と能力を生かして、北海道づくり・地域づくりに参加する学習である。

道民カレッジ実施状況(平成26年3月31日現在)

◎ 受講者数：81,664人 ◎ 連携講座数：2,895講座
 ◎ 称号取得者数(延べ人数) ■ 学士：642名 ■ 修士：450名 ■ 博士：357名 ◎ 学長奨励賞：119名

5 教育メディアの利用促進

(1) 視聴覚教材の収集・整備及び貸出事業

事業名	期 日	対 象	内 容
視聴覚教材 収集・整備事業	通 年	官公庁、社会教育施設等、学校、社会教育関係団体、民間団体等	学習活動に必要な視聴覚教材を収集・整備し、市町村や関係団体の生涯学習活動を支援する。
視聴覚教材 貸 出 事 業	通 年	官公庁、社会教育施設等、学校、社会教育関係団体、民間団体等	学習活動に必要な視聴覚教材を貸出し、市町村や関係団体の生涯学習活動を支援する。

【インターネットによる教材検索・貸出】

生涯学習ほっかいどう

<http://manabi.pref.hokkaido.jp/>

附属視聴覚センター

● 視聴覚教材を利用するには

(2) 視聴覚教材の利用方法

- ①視聴覚教材貸出カウンター(かでの2・7 9階 情報交流広場)
 - ・開設時間：月～金曜日 9:00～17:00(祝日・休日、年末年始を除く)
 - ・電 話：011-231-4111(内線36-345)
- ②インターネット

北海道教育の基本理念

自立共生 自然豊かな北の大地で、自立の精神にあふれ、夢や希望の実現に挑戦し、これからの社会を担う人を育て、心豊かに、ともに支え合い、ふるさとに誇りを持つ人を育て

基本理念の実現に向けて

- 社会で生きる実践的な力を育成します
- 豊かな心と健やかな体を育成します
- 信頼される学校づくりを推進します
- 地域全体で子どもたちを守り育てる体制づくりを推進します
- 北海道らしい生涯学習社会の実現をめざします

北海道立生涯学習推進センターの運営

1 基本方針

北海道立生涯学習推進センターは、本道における生涯学習振興の拠点施設として、市町村や高等教育機関及び産業界と連携を図りながら、社会の進展や地域の要請にこたえる事業を総合的に行い、道民のさまざまな学習が促され、それらの活動が豊かに展開されるよう支援します。



平成25年度生涯学習推進専門講座の様子

2 機能

(1) 調査・研究

生涯学習の推進に関する調査研究や学習支援方法等の開発を行うとともに、その成果の普及に努めます。また、生涯学習に関する研究資料の収集及び保存に努めます。

(2) 指導者の養成・研修

生涯学習を推進する有志指導者の養成を行うとともに、生涯学習関係職員等の資質向上を図るため、各種研修を行います。

(3) 学習情報の提供・相談

生涯学習に関する情報の収集及び提供を行うとともに、各種相談に応じます。また、家庭教育支援及び市町村行政機関関係者等への支援を行います。

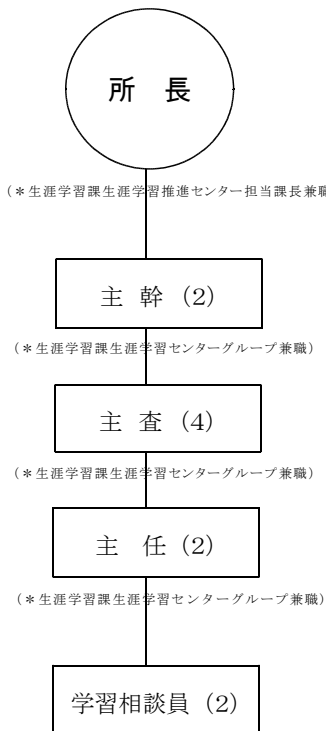
(4) 学習機会の提供

新しい北海道を創造する人づくり・地域づくりに関する学習機会の提供を行います。

(5) 教育メディアの利用促進

視聴覚教材の収集・整備及び貸出しを行い、市町村や関係団体の生涯学習活動を支援します。

センターの組織



センターのあらかし

昭和49年 6月	— 北海道社会教育委員の会議の答申「社会の動向と道民の学習要求にこたえる社会教育の進歩方策について」の中で「社会教育総合センター（仮称）」の設置を提言
昭和53年 6月	— 北海道社会教育委員の会議の答申「本道の社会教育施設の在り方について」の中で「道立社会教育センター」の早期設置について提言
昭和58年11月	— 北海道社会教育委員の会議の意見具申「社会教育行政の当面する課題と対応策について」の中で社会教育総合センター設置の基本計画の早期策定について提言
昭和63年 3月	— 北海道新教育長期総合計画に「北海道社会教育総合センター（仮称）」の設置・整備を位置付け
7月	— 「北海道社会教育総合センター（仮称）」設置基本構想を策定
平成元年10月	— 社会教育総合センター、社会福祉総合センター、婦人総合センター、ウタリ総合センターを複合した「センター会館（仮称）」建設工事着工
平成 3年 2月	— 施設愛称「かでの2・7」に決定
7月29日	— 北海道立道民活動センター条例制定
9月30日	— 「道民活動センタービル」竣工
11月14日	— 道民活動センタービル内に「北海道立社会教育総合センター」開設
12月 9日	— 北海道立社会教育総合センター運営協議会設置
平成 6年 4月 1日	— 「北海道生涯学習情報提供システム事業」運用開始
平成11年 7月30日	— 北海道生涯学習審議会提言「活力ある生涯学習社会の構築に向けた推進の在り方」で社会教育総合センターの生涯学習推進センターへの改組を提言
平成13年 4月 1日	— 「北海道立生涯学習推進センター」に名称変更
9月14日	— ほっかいどう生涯学習ネットワークカレッジ（道民カレッジ）開講式
平成14年 7月 8日	— 道民カレッジ称号取得者第1号誕生
平成23年 6月 1日	— 生涯学習推進局生涯学習課にセンター所長を兼職する生涯学習推進センター担当課長及び生涯学習センターグループを配置

● 施設の概要

名称—道民活動センタービル（かでの2・7）
 所在地—札幌市中央区北2条西7丁目1番地
 建築概要—建築面積 3,170m²
 —延床面積 20,554m²
 —建物構造 鉄骨鉄筋コンクリート造
 —竣工 平成3年9月14日

生涯学習推進センター専有面積
 8階 463.3m²
 9階 451.4m²
 10階 163.5m²
 1,078.2m²

● 連絡先情報

<推進センター管理事務室>

〒060-0002

北海道札幌市中央区北2条西7丁目1番地 かでの2・7ビル(8階)

電話 **ダイヤルイン:011-204-5781**

011-231-4111 (内線番号)36-321 ~ 36-329

FAX 011-261-7431

ホームページ <http://manabi.pref.hokkaido.jp/>

生涯学習ほっかいどう

検索

<各窓口>

学習相談室『まなびウイング』

電話 011-231-4111 (内線番号)36-347

E-mail hipc_wing@manabi.pref.hokkaido.jp

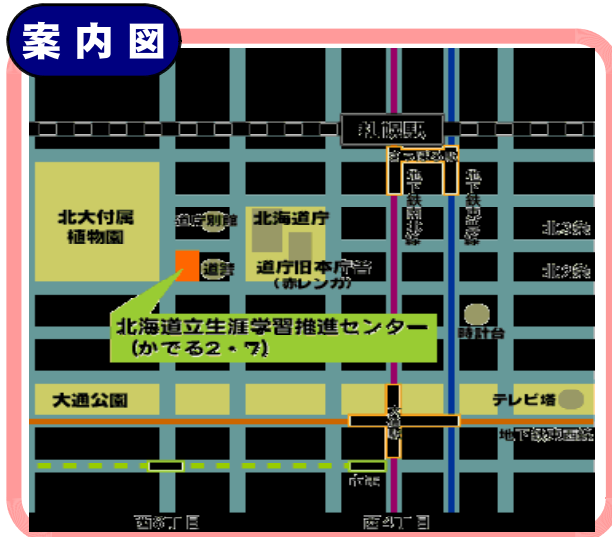
子育てカウンセリング予約電話

ダイヤルイン:011-261-4545

E-mail kosodate@manabi.pref.hokkaido.jp

情報交流広場 _____ (内線番号)36-339

視聴覚教材貸出 _____ (内線番号)36-345



道民カレッジロゴマーク
愛称「マナポー」



生涯学習のマスコット「マナビー」